

## 『別冊整形外科』 No. 90 「スポーツ外傷・障害の最新知識」

「スポーツ傷害」は、いわゆるオーバーユースによる「スポーツ障害」と一回の外力による「スポーツ外傷」に大別され、脊椎や四肢の各関節に多様な病態が生じます。若年から高齢者まで幅広い年代でのスポーツ活動の普及と競技レベルの高度化に伴い、整形外科医が対応すべきスポーツ外傷・障害は年々多様化・複雑化しています。外傷の急性期対応から慢性障害のマネジメント、競技復帰に向けた治療戦略、さらには再発予防にいたるまで、幅広い知識と実践力が求められています。

本特集では、「スポーツ外傷・障害の最新知識」として、スポーツ外傷・障害に関する最新の診断・治療・予防の知見を共有し、臨床現場における実践的なアプローチを紹介することを目的とします。手術療法・保存療法の選択、画像診断の進歩、リハビリテーションとの連携、若年アスリートや高齢者スポーツの対応など多様なテーマを歓迎します。スポーツ整形外科の最前線を担う皆様のご臨床経験や研究成果を通じて、読者にとって実践的かつ示唆に富む内容を発信していきたいと考えております。多くのご投稿を心よりお待ちしております。

## 募集細目 (例)

## I. 総論

1. スポーツ外傷・障害の疫学
2. スポーツ外傷・障害予防
  - 1) 外傷・障害予防トレーニング (FIFA 11 など)
  - 2) 野球による投球制限
3. 検診など
  - 1) 野球検診
  - 2) メディカルチェック、フィジカルチェック
  - 3) プロスポーツに対するメディカルチーム体制

## II. 診断

1. X線像
2. CT
3. MRI
4. 超音波
5. 人工知能 (AI)

## III. 保存療法

1. 薬物療法 [多血小板血漿 (PRP) 含む]
2. 運動療法
3. 物理療法 (対外衝撃波、高圧酸素療法含む)
4. 装具療法
5. 超音波によるインターベンション

## IV. 部位別疾患

1. 脊椎
  - 1) 頸椎・腰椎捻挫
  - 2) 頸椎・腰椎椎間板ヘルニア
  - 3) 頸椎・頸髄損傷
  - 4) 腰椎分離症
2. 肩
  - 1) 胸鎖・肩鎖・肩関節脱臼

- 2) 野球肩
- 3) 水泳肩
- 4) 腱板損傷
- 5) 関節唇損傷 [上方関節唇損傷 (SLAP lesion) 含む]
- 6) Entrapment neuropathy
- 7) 胸郭出口症候群
3. 肘
  - 1) 野球肘 (内側側副靭帯損傷、離断性骨軟骨炎)
  - 2) テニス肘
  - 3) 肘関節脱臼
4. 手・手関節
  - 1) 突き指、マレット指
  - 2) 手指の靭帯損傷
  - 3) 手指の脱臼・骨折 (舟状骨、有鉤骨、ボクサー骨折など)
  - 4) 三角線維軟骨複合体 (TFCC) 損傷
5. 骨盤・股関節・大腿
  - 1) 骨盤剥離骨折・骨端線離開
  - 2) 大腿部肉ばなれ
  - 3) 股関節関節唇損傷
  - 4) グロインペイン症候群
  - 5) 大腿骨寛骨臼インピンジメント (FAI)
6. 膝
  - 1) 膝靭帯損傷 [前十字靭帯 (ACL)、後十字靭帯 (PCL)、内側側副靭帯 (MCL)、外側支持機構]
  - 2) 半月板損傷 (円板状半月板含む)
  - 3) 膝蓋骨脱臼・亜脱臼
  - 4) ジャンパー膝
  - 5) 腸脛靭帯炎

- 6) Osgood-Schlatter 病
- 7) 膝離断性骨軟骨炎
- 8) 関節軟骨損傷
7. 下腿
  - 1) シンスプリント
  - 2) 疲労骨折
  - 3) アキレス腱炎・アキレス腱断裂
  - 4) 腓骨筋腱脱臼
8. 足・足関節
  - 1) 足・足関節靭帯損傷・骨折・疲労骨折
  - 2) 距骨骨軟骨損傷
  - 3) 足関節前方インピンジメント
  - 4) 足関節後方インピンジメント (有痛性三角骨)
  - 5) 有痛性外脛骨
  - 6) 足底腱膜炎
- V. スポーツ種目別・年代別・性別の外傷・障害
  1. 各種スポーツ別のスポーツ外傷・障害 (スポーツ復帰、リハビリテーションなど含む)
  2. 女性のスポーツ外傷・障害
  3. 思春期のスポーツ外傷・障害
  4. 高齢者のスポーツ外傷・障害
  5. 障害者のスポーツ外傷・障害
- VI. その他
  1. 熱中症
  2. 脳震盪
  3. 貧血・オーバートレーニング
  4. スポーツと循環器障害・呼吸器障害
  5. 突然死

※上記募集細目以外でもぜひご応募ください

『整形外科』編集委員会

ご応募くださる方は、タイトルおよび要旨 (1,000 字以内) を、2026 年 2 月末日までに下記『整形外科』編集室・『別冊整形外科』係宛にお送りください (E-mail でも受け付けます)。2026 年 3 月末日までに編集委員会で採否を決めさせていただきます。その後ご連絡いたします。なお、ご執筆をお願いする場合の原稿締め切りは採用決定から 2 ヶ月後 (2026 年 5 月末日)、発行は 2026 年 10 月予定となります。

送付先: ☎ 113-8410 東京都文京区本郷三丁目 42 番 6 号

株式会社南江堂 『整形外科』編集室・『別冊整形外科』係

(TEL 03-3811-7619 / FAX 03-3811-8660 / E-mail: [pub-jo@nankodo.co.jp](mailto:pub-jo@nankodo.co.jp))